

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	あそびの森2016 (子ども～大人のあそび交流活動&遊育環境を考える大人向け研修活動)
事業主体 (連絡先)	あそびの森実行委員会 (上田市上田 1883-B203 ☎080-5505-4302 📠0268-71-7379 事務局 清水洋幸)
事業区分	主となる区分：(2)保健、医療、福祉の充実に係る事業 関連する区分：(3)教育、文化の振興事業 (8)その他地域の元気事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,990,338 円 (うち支援金： 1,483,000円)

事業内容

核家族化や少子化、地域のつながりが希薄化している中で、子どもから大人までが、あそびの中で関わり合い、関わりの中にある豊かさを実感していく子どもから大人の交流活動を実施。さらに、子どもに関わる大人向けや親対象のワークショップ・シンポジウム講演会も行い、子どもとの関わりやあそび環境・豊かな子育て環境を考え合う遊育環境を考える研修を行った。

- ①りんごひろば(乳幼児・大人)×6回
- ②わくわくあそび探検隊(幼・小・大人)×6回
- ③あそびの劇場(異年齢・大人)×2回
- ④忍者修行！真田十遊士(異年齢・大人)×3回
- ⑤子育てシンポジウム(大人)
- ⑥大人向けワークショップ×3回



【子育てシンポジウム】
「広がれ！あそび心講座」

【目標・ねらい】

- ①関わりにおけるプラスの実感
- ②参加者の増加・継続化
- ③活動主旨の理解を広げる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①あそび活動において、子ども大人みんなでたくさん笑い合い、「人っておもしろい！」「人と何かをすることは楽しい！」という実感を持たせた。

②③昨年度の活動より、参加者が増加。このことから、活動が定着化し、活動を通して事業の目的が浸透してきていることが分かる。

また、支援者の数が増加した。研修活動の参加増が目標を上回り、その活動参加の中からあそび交流活動のサポートに入る学生が現れたこと、また、行政主催の活動との連携していくことにつながった。

このことから、活動に賛同する方や積極的・主体的に関わって下さる方が増え、この事業の趣旨を理解の輪が広がり、共に地域や子育てのことを考え合う仲間が増えたと考えられる。

※自己評価 【A】

【理由】参加者や支援者が増加し、活動に賛同する方や積極的・主体的に関わって下さる方が増え、この事業の趣旨を理解の輪が広がり、共に地域や子育てのことを考え合う仲間が増えた。そういったつながりから、今後の子育てや地域の関わりネットワーク作りに期待が持てるから

今後の取り組み

今後は、今までの活動で子育て観やあそび観・地域づくりの想いに響き合いつながった行政の方や市民団体の方と協働して、活動をそれぞれの団体の地域に届けていくことを目指します。そのことにより、今までに参加していなかった子どもたちや大人に活動が届けられることと、まさにその地域で暮らしている子どもと大人の交流が深まる良さがあります。各地域の行政の方や市民団体の方と、地域を耕し、子ども・大人を再発見して、活動の中でそれぞれが持っている魅力を互いに感じ合い、地域の人的な魅力を再確認し、地域の中のつながりを再構築していきます。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある